

# 令和元年度 施策外部評価（案）

静岡市上下水道事業経営協議会

令和 2 年 12 月 18 日

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>「施策評価シート」の政策名です。</p>	<p>「第3回協議会」で説明した「<u>上下水道局の自己評価</u>」の記載です。 (課名は、評価責任課)</p>	<p>「<u>上下水道局の自己評価</u>」を受けて、皆様に記載していただいた外部評価を記載しました。</p> <p>_____ …主な意見                      ~~~~~ …その他の意見</p>	<p>「外部評価（各委員の評価）」を、まとめたものです。今回協議会においては皆様の評価が、「まとめ(黒枠内)」に反映されているかをご確認ください。外部評価(案)と評価区分が違う意見については、「なお」書きとして記載しています。</p>
<p>1 危機管理を強化する。</p>	<p>「(1) 重要な管・施設の地震対策」          ≪水道基盤整備課≫                      [A評価]</p> <p>重要な管・施設の地震対策について、施策を構成する全ての事務事業で計画どおりの実施となった。</p> <p>特に「①水道管の耐震化」や「②下水道管の耐震化」の事務事業では、R1年度に計画していた延長を上方修正して一部事業を前倒すことで、早期の耐震化完了に向けて事業を進めることができた。</p> <p>以上のことから、想定される巨大地震に備え、管や施設の地震対策及び津波対策を進めることで、危機管理の強化を目指す施策の目的がおおむね達成されているため、「A」評価とした。</p> <p>各事務事業の外部評価の際に、「早急に耐震化に向けて事業を進めてほしい」という意見があったことを踏まえ、効率的に耐震化工事が行えるよう、道路拡幅等の工事の実施に合わせた同調施工の調整</p>	<p>「(1) 重要な管・施設の地震対策」に対する評価                      [A評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同調施工による効果は、危機管理の強化の観点だけではなく、コストの削減、住民負担の軽減につながるので、道路部局や他インフラの情報と十分に調整し積極的にお願いします。</li> <li><u>水道管、下水道管、水道施設の耐震化、下水道施設の津波対策とともに、計画通りの実績を上げたことや、計画の前倒しを進めたことから、A評価とします。</u></li> </ul> <p>地震の予知、規模、被害の大きさの想定は困難であり、全管の早期耐震化に全力で取り組んでいる姿を引き続き示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>施策を構成する全ての事務事業において計画通りの耐震化が進められ、成果を挙げていることを評価します。</u></li> </ul> <p>巨大地震に備え、今後も気を引き締め、更なる成果を目指し万全の構えで取り組んでいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>R1年度は、国からの財政支援が得られたということもあり、地震対策が順調に進められたことを評価します。今後の施設の統合の可能性も考慮し、早急に稼働施設の整備を進めて頂くようお願いしたいと思います。</u></li> </ul>	<p>[A評価]</p> <p>重要な管・施設の地震対策については、水道管、下水道管、水道施設の耐震化、下水道施設の津波対策とともに、計画どおり進捗していることから、想定される巨大地震に備え、管や施設の地震対策及び津波対策を進めるといふ施策の目的が達成されていると判断し、A評価とする。</p> <p>今後もスピードを加速した施策・事業に期待する。</p> <p>その他の意見</p> <p>事業の開始時期や終了見込み等の長期的なロードマップが見えない。協議会の議論の中でも早期の完成を求める声が多い中で事業のス</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>に取り組んでいくことや、国からの財政支援の積極的な活用などにより、早期の耐震化に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化事業は計画どおり進行していると思いますが、第3回協議会で上下水ともに完了時期が未定であるという説明がありました。いつ地震が起きるかもわからないので、優先順位を明確にして対応願います。</li> <li>・水、電気は生活していく上で最も必要なインフラです。地震や津波だけでなく、最近では、台風や風水害によるトラブルも多く発生しており、命の水を守るため、全力で計画を進めていただきたい。</li> <li>・事務事業が概ね計画通りに実施され、耐震化を進めようとする努力は十分にされていると見受けられます。しかし、<u>事業の開始時期や終了見込み等の長期的なロードマップが見えません。協議会の議論の中でも早期の完成を求める声が多い中で事業のスピード感の妥当性を検証する機会が十分とは言えない状態であることは残念に思います。仕事を計画通りに行うことは重要ですがその仕事がどのような意義を持つのかについても意識して説明していただければ、利用者に対する説明の説得力が強まると思います。</u></li> <li>・<u>達成率100%の取り組みは危機管理の強化から市民は安心できる。今後もスピードを加速した施策・事業に期待します。</u></li> </ul>	<p>スピード感の妥当性を検証する機会が十分とは言えない状態であることは残念に思う。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「（２）浸水対策」            ≪下水道建設課≫ [ B 評価 ]</p> <p>浸水対策について、施策を構成する３つの事務事業のうち２つの事業が計画を下回り、１つの事務事業が計画を上回る実施となった。</p> <p>「①雨水総合排水計画の更新」の事務事業については、基本構想素案は策定したものの、パブリックコメントの実施までには至らず、基本構想の素案の策定のみにとどまった。</p> <p>「②内水ハザードマップの作成・公表」の事務事業については、出前講座・説明会を R1 計画以上に実施し、浸水被害軽減のための市民理解度向上のための取組をした。</p> <p>「③雨水幹線・ポンプ場などの整備」の事務事業については、台風による被災や地下埋設物管理者との移設調整により事業に遅れが生じ、計画を下回る完了地区数となった。</p> <p>しかし、「①雨水総合排水計画の更新」の事務事業については、基本構想が素案までの策定が進んでいることや、「③雨水幹線・ポンプ場などの整備」は、計画以上の実施地区の着手や、一部区間を供用し事業効果を発現している地区もあることから、「施策目的が全く達成されていない」とまでは言い切れない。</p>	<p>「（２）浸水対策」に対する評価 [ B 評価 ]</p> <p>C 評価 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害軽減のための市民理解度が高いことは丁寧な説明の成果と評価する。ハード対策は時間を要するので、市民が早期に避難する意識を持っていただくためにも、説明会等の広報活動を今後も積極的に継続していただきたい。</li> <li>・「内水ハザードマップの作成・公表」については、住民への丁寧な説明が行われているようであり、評価します。</li> </ul> <p>「雨水幹線・ポンプ場などの整備」については、台風の影響や地下埋設物の移転調整による遅延があったようですが、ガスとの調整をはじめ早期の対策完了に向けて努力してください。</p> <p><u>雨水総合排水計画の更新については、改善に向けた取組にあるように、パブリックコメントの実施、年度内の基本構想の策定を完了させてください。</u> 浸水対策を全体としてみると、ハード整備の遅れがみられますので B 評価とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策を構成する３つの事務事業において計画通りの成果を挙げているとは言い切れません。特に、「<u>雨水総合排水計画の更新</u>」については、C 評価となり迅速な対応が求められます。</li> </ul> <p>浸水被害は生活に直結する問題であり不安は大きいです。ひとたび浸水状態に見舞われると日常生活を取り戻すまでにかかなりの日数がかかると思います。安心・安全な生活を維持できるように、早急に計画を進めていただきたい。</p>	<p>[ B 評価 ]</p> <p>浸水対策は、施策を構成する３つの事務事業において計画どおりの成果を挙げているとは言い切れず、浸水被害の軽減を図るという施策の目的があまり達成されていないと判断し、B 評価とする。</p> <p>特に、「雨水総合排水計画の更新」については、c 評価となり迅速な対応が求められる。改善に向けた取組にあるように、パブリックコメントの実施、令和２年度内の基本構想の策定を完了させること。</p> <p>なお、年々激しくなる自然災害への不安が高まっている中、現状では災害対策に対して高まる市民のニーズに十分応えられるレベルまでには達していると考えられず、着実な事業推進へのお願いの意味も込めて「C」とする評価もあった。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>以上のことから、浸水被害の軽減を図り、危機管理の強化を目指す施策の目的があまり達成されていないと判断し、「B」評価とした。</p> <p>浸水対策は、市民生活の安心・安全の確保につながるため、計画策定や工事の遅れを取り戻すことに努めるとともに、自助・共助の意識向上のため住民への周知を持続的に行い、ソフト・ハードの両面からの対策を進めていく。</p> <p><b>改善に向けた取組</b></p> <p>①雨水総合排水計画の更新</p> <p>令和2年度中に、パブリックコメント等を行い、基本構想を確定し、かつ令和2年度の計画値であるA地区の基本計画策定も完了して計画どおりの進捗となるように、達成に向けて実施していく。</p> <p>なお、令和2年9月末時点の今後の計画としては、10月からパブリックコメントを実施し、12月には基本構想を確定させ、年度内にはA地区の基本計画の策定が完了する見込みである。</p> <p>③雨水幹線・ポンプ場などの整備 「広野地区」</p> <p>海岸部での吐口工事では高潮の影響を受けないよう、過去の最大高潮水位よりも高い位置に作業や</p>	<p>・計画の変更や台風による被災などにより、単年度としては事業が計画どおりに進まなかったようですが、<u>パブリックコメントの早期の実施や過去の経験を生かした工程の見直しにより、次年度以降、事業がより順調に進められることを期待します。</u>また、市民の側からも自分たち自身での安心・安全の確保ができるよう、ハザードマップを有効に機能させるような取組みもお願いしたいと思います。</p> <p>・<u>パブコメの遅れは十分に説明があり、理解できたが、進行管理の工夫が欲しいところである。出前講座や説明会などで市民の理解を得る努力は評価できる。</u></p> <p>更に事業が広域的なものなので、多くの市民のコンセンサスを求められるよう努めて頂きたい。</p> <p>・浸水対策のありがたさは身にしみて感じています。早急な対応をお願いします。</p> <p>・昨今の気象から、浸水対策は待ったなしに進めて欲しい取組です。計画の更新が、基本構想となるべく、素案の検討を進めてください。</p> <p>・単年度の達成が難しい取り組みが多いと思います。今後も継続的に取り組んでいただきたいです。</p> <p>・ハザードマップの作成や公表、並びに雨水幹線はポンプ場の整備が進んでいる点は評価できる、一方で雨水総合排水計画の更新は基本構想の素案が示されている段階で、現状にあったアップデートは進められているものの、計画の実施の段階にまで至っていないと考えられる。協議会でも洪水対策を求める委員の声は強く、強烈な台風や豪雨に毎年襲われていることを考慮すると、雨水総合排水計画の更新の遅れはやや拙速な対応に見える。過年度までに実施された</p>	

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>ードを構築し工事を進めていたが、被災を受けた時の高潮水位はそれを超えるものであった。</p> <p>今後海岸で工事を実施する場合、台風シーズンを考慮した工期設定とすることを検討する。</p> <p>なお、広野地区は、令和2年10月初旬に一部通水を開始し、11月に対策が完了する予定である。</p> <p>「豊田二丁目・三丁目」及び「小鹿三丁目」</p> <p>地下埋設物管理者による支障物件の移設調整は過去より課題となっており、これまで地下埋設物管理者（ガス、通信、水道）と調整を重ねてきた結果、令和元年度は3者中2者（通信、水道）の遅延原因を改善した。残り1者（ガス）とは令和2年度に円滑な実施に向けての調整を進めた。</p> <p>なお、豊田二丁目・三丁目地区は、令和2年9月末に対策が完了しており、小鹿三丁目地区は、令和3年3月末に対策が完了する予定である。</p>	<p>事業での一定の効果は認められること、さらに雨水総合排水計画の素案が示され納得のできる内容にはなっているが、<u>年々激しくなる自然災害への不安が高まっている中で、現状では災害対策に対して高まる市民のニーズに十分応えられるレベルまでには達していると考えられず、B評価の可能性も考えられるが、着実な事業推進へのお願いの意味も込めてC評価と判断した。</u></p> <p>・<u>計画が大きく下回っているため、これまではC評価。しかし一部着手や取り組んでいる事業もあることからBとします。</u></p> <p>・「①雨水総合排水計画の更新」の事務事業について、基本計画策定時ではなく基本構想策定時にパブリックコメントを実施し、構想段階から市民の意見を取り入れていこうとする姿勢自体はよいと思いますが、<u>パブリックコメントの実施が遅れて基本構想の策定に遅れが生じてしまっは危機管理の強化という施策目的が果たせません。</u> <u>「改善に向けた取組」に書かれているように、遅れを取り戻すよう努めてください。</u></p> <p>また、「③雨水幹線・ポンプ場などの整備」の事務事業についても遅れが生じていますが、その原因の1つである地下埋設物管理者との調整が常に円滑に進められるような方策を検討してください。</p> <p>・近年、異常気象が多い中で浸水被害が発生しているので計画通り進めるように努力してください。</p>	

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>2 管・施設を効率的に運用する。</p>	<p>「（１）管・施設の老朽化対策」          ≪水道管路課≫ [A 評価]</p> <p>管・施設の老朽化対策について、施策を構成する7つの事務事業のうち6つの事務事業が計画どおり、1つの事務事業が計画を上回る実施となった。特に「⑤下水道施設の改築」の事務事業では、活動指標の計画を上回る施設の改築を行うなど、老朽化対策の早期完了に向けて事業を進めることができた。</p> <p>以上のことから、将来にわたって上下水道サービスを持続していけるよう、管・施設の老朽化に対応することで、管・施設の効率的な運用を目指す施策の成果が十分出ているため、「A」評価とした。</p> <p>第3次中期経営計画の外部評価の際に、「今後、ますますスピード感を上げて更新・改築を進めてほしい」という意見があったことを踏まえ、水道事業においては、計画より若干の遅れが生じている「水道管の更新」について、工事ごとにきめ細やかな進行管理を徹底し、下水道事業においては国からの財政支援を積極的に活用することで、老朽化対策事業の着実な推進に努めていきたい。</p>	<p>「（１）管・施設の老朽化対策」に対する評価 [A 評価]</p> <p>・<u>管・施設の老朽化対策を構成する7つの事務事業は、ほぼ計画通り、計画を上回る実績を上げており、A 評価とします。</u></p> <p>漏水、濁水、下水処理機能の停止などは、いずれも市民生活に大きな支障をもたらします。引き続き、スピード感を持って進めてください。</p> <p>・<u>全ての事務事業で計画通り、もしくは計画を上回る実績を上げており、大いに評価できます。</u></p> <p>管・施設の老朽化対策は、ほとんどが主要事務事業に位置付けられ、スピード感を持って更新・改築に取り組もうとする意気込みが感じられます。</p> <p>・<u>全ての事業が計画どおりに進められていることから、A 評価としました。</u>管、施設の老朽化対策は、市民にとって関心の高い事業なので、事業の進捗状況や工事の内容などがわかりやすい広報活動を合わせて行うことで、市民の理解や安心感に繋がると思います。</p> <p>・市民の日常の生活のなかで、当たり前の如くに使用している上下水道であるので、何か事故があってからでは遅きに失するので、コンスタントにスピード感が求められる事業です。迅速な対応を期待します。</p> <p>・<u>老朽化対策は果てしない作業ですが、スピード感をもって取り組んでください。</u></p> <p>・事務事業で計画通りの実施がなされていることを考慮して A 評価をしましたが、<u>管や施設の老朽化は対策を行わない限り不可逆的</u></p>	<p>[A 評価]</p> <p>管・施設の老朽化対策については、構成する7つの事務事業でいずれも計画どおり、または計画を上回る実績を挙げていることから、将来にわたって上下水道サービスを持続していけるよう、管・施設の老朽化に対応するという施策の目的が達成されていると判断し、A 評価とする。</p> <p>老朽化対策は果てしない作業だが、スピード感をもって取り組むこと。</p> <p>その他の意見</p> <p>管や施設の老朽化は対策を行わない限り進行し続けるものであるため、事務事業の対象範囲や実施期間を明確にして実施する必要があるのではないか。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<p><u>に進行するものですから、事務事業の対象範囲や実施期間を明確にして実施する必要があるのではないのでしょうか。</u>特に昨年の料金改定の議論においては、老朽化対策の強化を値上げの大きな理由として挙げてきた経緯を考えると、値上げによる増収分が施設の健全化にどのように貢献があったか明確にして説明することが求められると思います。例えば、施設全体の残存年数（耐用年数－使用年数）を示す等、定量的に把握可能な指標作りが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ほぼ計画通りの進捗している。災害リスクを減らすよう今後も早期完了を目指してほしいです。</u></li> <li>・「②水道管の更新」の事務事業について遅れが生じていますが、この原因も地下埋設物管理者との調整にあるようですので、地下埋設物管理者間の調整が円滑に進む仕組みづくりが必要ではないでしょうか。</li> </ul> <p>また、「③下水道管の改築」の事務事業について、成果指標の計画値がR1年度からR4年度まで毎年0.4箇所となっており減少していません。管の老朽化が原因で重大な道路陥没事故が発生する可能性がある以上、R4年度までに0箇所にするには難しいとしても、少しでも陥没箇所が減るような計画を立てるべきではないのでしょうか。施策目的である老朽化対策は進められているとしても、事故の発生の可能性を減らす取組を行っていないような印象を受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>計画通り実施できたことに評価します。</u></li> </ul>	



政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>3 環境への負荷を軽減する。</p>	<p>「（２）温暖化対策」          &lt;&lt;水道施設課&gt;&gt; [B 評価]</p> <p>温暖化対策について、施策を構成する２つの事務事業のうち１つの事務事業が計画を下回り、１つが計画どおりの実施となった。</p> <p>「①自然エネルギーの活用」の事務事業については、R 1 年度計画どおりの 20kW の小水力発電設備を設置したが、中部電力との協議により発電電力量を抑えたことで、温室効果ガス排出低減量(t-CO2/年換算)の実績が計画を下回った。</p> <p>しかしながら、発電電力量を抑えてはいるものの、小水力発電は実施しているため、施策目的が全く達成されていないとは言い切れない。</p> <p>以上のことから、自然エネルギーの活用や、一層の省エネルギー化を図り、環境への負荷の軽減を目指す施策の目的があまり達成されていないと判断し、「B」評価とした。</p> <p>温暖化対策は、環境への負荷軽減につながるとともに、エネルギーの効率的な使用を進めることで、経費削減など経営改善にも寄与することを意識し、効率的な導入に努めていきたい。</p>	<p>「（２）温暖化対策」に対する評価 [B 評価]</p> <p>－評価 1</p> <p>・省エネ対策については、ほぼ計画通りの実績を挙げましたが、<u>自然エネルギーの活用については、温室効果ガス排出低減量の実績が計画をかなり下回ったことから、温暖化対策全体としては、B 評価とします。</u></p> <p>省エネについては、「見える化」やセンサー（人感など）の活用など、省エネ意識を高めるための、一層の工夫・検討をお願いします。自然エネルギーについては、発電したエネルギーの自家消費など、系統電力への売電だけに頼らない活用の検討をお願いします。</p> <p>・「省エネルギー対策」については庁舎を上げた取り組みにより計画通りに進捗し、成果を上げています。<u>「自然エネルギーの活用」については、小水力発電設備を設置したものの、解決しなければならない問題もあり、総合的に見て「B」評価とします。</u></p> <p>・小電力発電については、今年度の問題点を解消し、今後、より効率的に自然エネルギーの活用ができることを期待します。また、更なる導入の可能性に、積極的に取り組んで頂きたいと思います。</p> <p>・<u>資料 1 の外部評価案まとめのとおりであるが、中電と協議が整わなかった原因を精査し、問題点を掘り起こし、実績を挙げられなかったことを十分に検討し、今後の運営に活かしてほしい。</u></p> <p>・評価する場合は基本的には小水力発電の進捗状況のみでよいと思います。</p>	<p>[B 評価]</p> <p>温暖化対策については、「省エネルギー対策」で、ほぼ計画どおりの実績を挙げているが、「自然エネルギーの活用」では、温室効果ガス排出低減量の実績が計画を大幅に下回った。施策目的のうち、自然エネルギーの活用を図るという部分では、施策の目的があまり達成されていないと判断し、B 評価とする。</p> <p>「自然エネルギーの活用」の成果指標が達成できるように、中部電力との協議をしっかりと行き速やかな対応に努めること。</p> <p>その他の意見</p> <p>事務局より小水力発電事業の取組のみで施策の評価をするとの説明があったが、小水力発電事業だけでなく、太陽光発電など、他の自然エネルギー事業の状況も勘案する必要が高いと考え、外部評価結果を参考</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<p>・自然エネルギーを活用する事は大事で、できれば二酸化炭素排出量低減に尚一層取り組んで下さい。</p> <p>・小水力の導入については一朝一夕では難しいことだと思います。</p> <p>・<u>小水力発電の事務事業のスキームが、外部の事業者への不動産や施設の賃貸と言う形式であり、温暖化対策よりも収入確保にウエイトが置かれているように見受けられ、積極的に電力を活用しようという意欲が乏しいように見受けられます。</u></p> <p>そのため、この事業のみを前提とした評価では B ないし C 評価が妥当と考えられます。<u>前回会議では今回の評価は小水力発電事業のみを施策評価の対象とする旨のご説明をいただきましたが、太陽光発電等他の事務事業の状況も勘案する必要は高いと考えられ、外部評価結果を参考とする方の誤解を避ける必要があることから、評価不能を結論とします。</u></p> <p>・<u>小水力発電の稼働に評価できますが、自然エネルギーの導入は、具体的な計画のもとに効率よく活用してほしいです。</u></p> <p>環境への負荷を軽減するためには市民の水の知識や使い方にも供給水量とのバランス効果を考える意識を高めることも大切。</p> <p>・<u>計画が達成できるように、中部電力との協議をしっかりと行い速やかな対応を務めてください。</u></p>	<p>とする方の誤解を避ける必要性から、「評価不能」とする。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p>	<p>「（２）職員の技術習得」          ≪水道総務課≫ [A 評価]          職員の技術習得について、施策を構成する全ての事務事業で計画どおりの実施となった。          「①各種研修の充実」の事務事業においては、R1年度成果指標である内部研修時間が計画値を上回る結果となった。          以上のことから、職員数の減少によるサービスの低下を招かないよう、機能的な組織づくりに努め、人材育成、知識・技術の継承等を推進することで、信頼される経営の確立を目指す施策の目的がおおむね達成されているため、「A」評価とした。          各事務事業に対する委員意見で、「活動内容が具体的でないため、評価が難しい」という意見があったことを踏まえ、活動の内容についてはより具体的に説明を行う。          また、コロナ禍により研修への参加機会が減少するなどの影響が生じているため、eラーニングの積極的な活用や、外部研修受講者から他の職員にフィードバックする機会を設けるなど、職員技術習得が効果的に行われるよう努めていきたい。</p>	<p>「（２）職員の技術習得」に対する評価 [A 評価]          ー評価 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修の充実、技術継承の仕組みづくりともに、計画通りの実績を上げており、A 評価とします。              外部研修のエスナビのレベルがどの程度かわかりませんが、技術継承の基本は、生きた現場の実績・経験を〇 J T で伝えていくことであり、その内容を数値・文章化などのデータベース化をしていくことは可能でしょうか？</li> <li>・全ての事務事業で計画通りの成果を挙げていることを評価します。職員の技術習得に向け、ハード面・ソフト面が更に充実することを願います。</li> <li>・職員の技術習得については、「研修」「技術継承の仕組みづくり」共に、計画どおりの実施がされていることから、A 評価としました。市の職員の減少に伴い、業務委託や外注なども増えていくかと思いますが、<u>公営企業として、やはり、職員の皆さんが核となっていますので、委託先や外注先の技術に頼るだけでなく、是非、上下水道局内部での安定した技術、知識の継承に努めて頂きたい</u>と思います。</li> <li>・技術習得の研修はかなり頻繁に実施されている。研修が直ぐ、業務に反映されないこともあり、その効果をはかることは難しい。研修参加者の受講満足度などの意見をアンケートで把握することも一つの方策ではないか。</li> <li>・資格要件の明確化を進めてください。</li> <li>・技術力のアップに取り組んで下さい。</li> </ul>	<p>[A 評価]          職員の技術習得については、「研修」、「技術継承の仕組みづくり」とともに、計画どおり実施していることから、機能的な組織づくりや、人材育成、知識・技術の継承等を推進するという施策の目的が達成されていると判断し、A 評価とする。          公営企業経営は、職員が主体となり運営していく必要があるため、委託先や外注先の技術に頼るだけでなく、上下水道局内部での安定した技術、知識の継承に努めること。</p> <p>その他の意見          施策の評価においては、研修を行うことで上下水道経営や利用者にとってどのようなメリットがあるかという観点からの評価が必要であり、効果測定が不明確で評価の判断をできるだけ資料がないことから不明であり評価不能である。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の評価においては、アウトプット（研修を実施したという事実）の観点も重要で、計画通りに実施されていることは素晴らしいと思います。<u>しかし、施策の評価においては研修を行ったことで上下水道経営や利用者にとってどのようなメリットがあったのかと言った観点からの評価が必要であり、効果測定が不明確で評価の判断をできるだけの資料がないことから不明であり評価不能という判断に至りました。</u></li> <li>・予期せぬコロナ禍の問題にもeラーニングなど、いろいろな方法を活用工夫が実施され、今後の水道技術の向上(新規採用者以外の人)にも取り組みが期待できます。</li> <li>・<u>施策の目的は、職員数の減少によるサービスの低下を招かないようにすることにあります。そのためには、職員数の減少に応じて研修を充実させ、技術継承を図っていかなければなりません。単に研修や技術継承を実施するだけでは、職員数の減少に対応できるだけのことが行われているのかがわかりません。</u></li> <li>・<u>職員の能力アップは、事業運営に大切ですが、内容成果も検証してください。</u></li> </ul>	<p>職員の能力アップは、事業運営に大切だが、内容成果も検証すること。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「（３）財政の健全化」            ≪下水道総務課≫ [A評価]</p> <p>財政の健全化について、施策を構成する５つの事務事業のうち４つの事務事業で計画どおり、１つの事務事業で計画を上回る実施となった。</p> <p>特に「④適正な債権管理」の事務事業では、水道料金・下水道使用料の使用者に対する現住所調査をR1年度活動指標の計画を上回る2,580件実施することに加え、未収金発生の抑制、未収金整理の推進、債権回収体制の整備・強化、広報、啓発を実施することで、成果指標の水道料金・下水道使用料未収金と過年度受益者負担金収納率がR1年度計画値を上回る成果を得た。</p> <p>以上のことから、未収金を減らし料金・使用料の増収を図り、新たな財源の確保、企業債残高の適正管理及び経常的な費用の圧縮に努めることで、信頼される経営の確立を目指す施策の成果が十分に出ているため、「A」評価とした。</p> <p>各事務事業に対する外部評価の際に、「企業債の適正な管理」や「未収金の減少促進」という意見があったことを踏まえ、今後も財政基盤を強化し、上下水道局の安定経営の維持に努めていきたい。</p>	<p>「（３）財政の健全化」に対する評価 [A評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>新たな収入確保、企業債残高の適正管理、財政計画の定期的見直し、適正な債権管理、収納率の向上のいずれも計画通り、もしくは計画を上回る実績を上げおり、A評価とします。</u></li> </ul> <p>庁舎駐車場の賃貸は良い試みと考えます。また、ダウンサイジングに伴う遊休資産の活用についても、幅広い検討をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>施策を構成する全ての事務事業において計画通り、もしくはそれ以上の成果を挙げていることを評価します。</u></li> <li>・水道料金改定の延期による減収もあり、財政の健全化に向けて、様々な角度からの対策が必要と思われます。上下水道局庁舎の貸駐車場の運営開始は、上下水道局としての新たな収入確保のための姿勢が、市民にも目に見えてわかり、水道料金値上げに対する理解も得られやすいのではないかと思います。引き続き、財政の健全化への取り組みと、市民に対して、透明感のある、わかりやすい形での広報をお願いします。</li> <li>・未収金の回収について、前回、具体的な説明を聞き、慎重かつ丁寧に行われていることが分かった。</li> </ul> <p><u>財政健全化について、未収金の問題は大きな比重を占める。市民それぞれが受益者負担の心がけを徹底して頂くよう、PRに努められたい。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>未収金の減少は不公平感の減少にもつながり使用者意識の変革にもなります。</u></li> </ul>	<p>[A評価]</p> <p>財政の健全化については、施策を構成する事務事業でいずれも計画どおり、または計画を上回る実績を挙げている。以上のことから、未収金を減らし、料金・使用料の増収を図り、新たな財源の確保、企業債残高の適正管理及び経常的な費用の圧縮をするという施策の目的が達成されていると判断し、A評価とする。</p> <p>未収金の減少は使用者の不公平感の減少や意識の変革にもつながる。</p> <p>今後、人口減少や、料金値上げによる節水意識の高まりによる減収が見込まれるため、財政管理を適正に行い健全化に努めること。</p> <p>その他の意見</p> <p>将来世代との負担の平準化を図るためにも、企業債の過度の依存にならないように努めること。</p>

政策	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>人口減少や料金値上げによる減収が否めない中、健全な財政管理を進めてください。</u></li> <li>・値上げを延期したことによる財政の健全化への影響について、令和二年度事業においてはご検討ください。</li> <li>・<u>事務事業評価の成果指標が施策のアウトカムに概ね合致すると考えられるため、実績値から財政面での経営管理については概ね良好であると判断しました。</u>        新型コロナウイルス感染症による経済停滞の影響がボディーブローのように出てくる可能性も考えられるため、今後の財政運営でも変わらぬご努力をお願いいたします。</li> <li>・<u>未収金の減少、収納率の増も図れているので、今後も引き続きサービスの向上と共に安定経営につなげてほしいです。</u></li> <li>・料金・使用料の見直しを実施する場合には、市民から見て信頼できる経営が行われているかどうかがとても重要になります。<u>特に企業債への依存のバランスや債権の管理を適切に行い、公平・公正な事業運営に努めてください。</u></li> <li>・計画通りに進捗していることに評価しますが、将来世代との負担の平準化を図るためにも、企業債の過度の依存にならないように努めてください。</li> </ul>	